



「3月の陽気…」

このところ、暖かい日が続いています。「3月の陽気…」だそうです。「卒業式の頃は、こんな感じなんだなあ。」と
思ったりします。

今日の休み時間、外遊びを終えた子供たち、先生たちも汗が光っていて、赤い顔をしていました。

【左の写真は先週行われた1年生 生活科たこあげの様子。
この日も暖かで、たくさんの保護者の皆さんの協力のおかげで
楽しそうな声が響いていました。ご協力ありがとうございました。】



朝日中学校 説明会

5時間目。朝日中学校の生徒会の生徒達が6年生に向けての学校説明に来校しました。

食い入るように説明に聞き入る姿に進学への期待と不安?が感じられました。

中学生の中には本校卒業生もいて、その成長の姿がまぶしく見えました。

6年生にとっては中学校を意識して、卒業、進学、春を実感する時間になったようです。



「1クラス当たりの児童数が多すぎます。 担任の先生の負担も大きく、きめ細やかな指導は 難しいと思うので改善願います。」

先日の「保護者アンケート」で、このようなご意見を複数いただきました。

現在、日本の学級編制の標準は、小1～小5が35人。小6～中3までが40人となっています。これは、『公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律施行規則』によるもので学校独自に決めることはできません。

以前から、教職員が一人一人の子供と向き合う時間を確保し、よりきめ細やかな教育ができるようにいわゆる「少人数学級」を望む声が強まっていて、2021年度に学級編制基準の改正が行われました。2021年度の2年生から小学校を5年間かけて順次35人学級にしてきました。ということで、本校でも1年生から5年生までは35人学級、6年生のみ40人学級となっています。もう1年早く実現されていれば6年生も3クラスになったのに…残念です。

この基準のために、4年生は、昨年度までは3学級でしたが、転出等により通常学級の人数が70人となったため、2学級となりました。この後、学級編制の基準日となっている5月1日までに、もう一人でも通常学級への転入生が入れば、また3学級になります。

また、特別支援学級の定数は8人までとされていて、きめ細やかな少人数指導が行われています。このように、子供の人数によって学級数が決まり、それによって教職員の人数も決まってきます。

ご意見のように心配してくださるのももっともで、ありがたいことです。保護者の皆さんにもご理解ご協力いただいて、今後も子供たち一人一人に目が届くように努めていきます。